巻　頭　言

# ディジタルテレビとHDTV 遂に来る！

㈱CBS
技術担当上級副社長
ジョセフ・フラハティ博士

研究や標準化，そして議論の時間は終わった。アナログテレビをディジタルに，HDTVへと変える時がつい(遂)に来た。アナログの時代は終わったのである。日本とアメリカが，過去何年にもわたって汗を流し，このディジタルTV，HDTVを世に出すために努力してきたが，これは，テレビの画質に画期的な変革をもたらし，21世紀にふさわしい移行を我々に成し遂げさせるものである。全世界の人々が，これにより，大きな恩恵を受けることは言うまでもない。

今こそ，ディジタルTV，HDTVを配備し，展開し，ディジタルテレビの世界を作り上げる時である。もはやアナログの機械を作る必要はなく，その開発や生産計画は無駄である。

さて，放送業者はどうやってディジタルの花を咲かせるのか？ディジタルのHDTVとSDTVをマルチプログラミングするのか？ケーブルや衛星放送で送られてきたHDTVを，通常のSDTVからお客を奪うための“看板”にするのか？

地域によって，その地方の文化によって，ビジネスのやり方，又は競争や視聴者のし(嗜)好により，その答えは違うだろう。ただそれがどのようなものであれ，21世紀のテレビは今までのものと違ったものになることは確かである。

アメリカ人は既にこれをよく分かっており，米国，カナダでのディジタルTV，HDTVサービスの配備計画は着々と進んでいる。アメリカのDTV／HDTV標準化・法制化は完了し，その移行スケジュール，地上波チャネルの割当ても済んで，今まさに転換が始まっている。

カナダにおける“ディジタルテレビ施行タスクフォース”も，カナダ政府へのレポートを完成し，17項目にわたる提案を行って，“カナダ国民が競争環境の中で高画質のディジタルテレビサービスが享受できる戦略的フレームワーク確立が必要で，またその移行が確実に行われるような施策を設定する必要がある”と指摘している。

アメリカでは，FCCがATSCの標準を公式採用し，地上波のディジタルTVとHDTVの放送を義務づけ，1997年４月３日には，既存放送業者にディジタル放送用の第二チャネルを割り当てるとともに，そのサービスの施行ルールを決定した。

FCCのディジタルテレビに関する最終報告書と施行命令書で，４大ネットワーク(ABC，CBS，FOX，NBC)の放送局及びその系列局は，99年５月１日までに10大都市圏でディジタル電波を出すことを義務づけられた。また，同じように次の11から30番目の大都市圏では，99年11月１日までにディジタルシグナルを出すこと，さらに，すべての地上波放送局は2003年までにディジタル電波発信を完了することが定められた。

FCCは，現在のアナログNTSC用に与えられた周波数帯域を返還する時期も，移行期間終了時である2006年と定めた。その時期についてのレビューは適時行われるが。

命令書とは別に，CBSを含む放送局グループの一部は，FCCとの合意で，トップ10市場のうち幾つかは98年11月１日までにオンエアすることを約束した。CBSは，ニューヨーク，ロサンゼルス，フィラデルフィアとサンフランシスコで，その日までに電波を発射することとしている。CBSは，ABC，FOX，NBCと同様，全部で14ステーション，つまり全米世帯数の33%をカバーする地域でディジタルTV，HDTVの放送を開始する。

ABC，CBS，NBC，PBS，HBO，MSG，DirecTV，Prime-star，それにUSSBは，今年中にHDTV放送を一日の中のいろいろな時間帯に放送することとしているが，CBSについて言えば，98年11月１日から，一週間に５時間，プライムタイムでのHDTV放送を開始する。続いて，スポーツ放送を含むいろいろなHDプログラムを加えていく。

99年５月１日までには最低でも30のTVステーションがディジタル化されるが，これはCBSで７か所，ABC，FOX，NBC，PBS合計で23か所である。これら全体で全米人口の39%をカバーすることとなる。

99年11月１日までには，CBSで12，その他の上記ネットワークで29，合計41の放送局が更にディジタル化される